

4 月	第 1 週	【主題名】 ガイダンス
【資料名】 心のノート		【内容項目】
【ねらい】 表現することがお互いを理解しあう事につながることを知り、道徳の学習での心構えをつくる。		
【主題構成の理由】 歌の歌詞一つをとっても、一人ひとり印象に残る場所がちがう。それを聞き合うことで、クラスメイトのことが少し分かったり、意外な発見があったりする。発表する事でみんなの気持ちに近づくことができるという体験を通して、道徳の時間を新しいことを知る時間になりたいと考え、ガイダンスを設定した。		
展 開 の 大 要	<p>○CD「心のノート」(大野靖之)を聴く。</p> <p>○心にグッときたところはどこだろう。 歌詞カードを配布し、アンダーラインを引かせる。</p> <p>○どこに線を引いたか、発表しよう。 (展開1)</p> <p>○心のノート p. 8、9を見て、「気になる」「のぞいてみたい」鍵穴に印をつけましょう。 (展開2)</p> <p>○道徳の時間のついて、3つの約束を確認する。 ・表現する ・共に考える ・新しいことを知る (終末)</p> <p>○道徳性アンケートにこたえましょう。</p>	
関 連	<p>心のノート8・9ページ</p> <p>学活(学級目標づくり)</p>	
授 業 改 善 の た め に	<p>2枚のアンケートは、時間がかかるが、読みながら一つ一つ行なう方法が良い。アンケートの項目については、意識と行動を併記したものの方が答えやすく、「気持ちはあるができていない」といった自分自身のふりかえりにもなるのではないかと。</p>	

4月	第2週	【主題名】家族のきずな
【資料名】三六五×十四回分のありがとう		【内容項目】4－(6)
【ねらい】家族の深い愛情に思いを馳せ、感謝の心で家族の愛にこたえようとする心情を育む。		
【主題構成の理由】中学生ともなれば、自我のから、家族から干渉をいやがり反発することも多くなる。家族の大切さは理解しつつも、素直になれない面もある。しかしやはり家族は心のよりどころである。家族がお互いを思う心の尊さを改めて考える機会としたい。		
展 開 の 大 要	<p>(授業参観時の指導略案)</p> <p>○お母さんに対する不満・文句はないかな。正直に書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもうるさい。 ・勉強しろという。 ・早く起きなさいというのがうるさい。 <p>*お子さんに言いたいことはないですか。書いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと勉強してほしい。 ・夜更かしをする。 ・食べ物に好き嫌いがある。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○手術の日が決まってからお母さんはどんな思いで「がんばれ」を連発したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術がんばってほしい。 ・手術が成功してほしい。 ・生きてほしい。 ・元気になった佐江子がみたい。 <p>◎「私はこんなに幸せになりました」という言葉にはどんな思いが込められていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親に対する感謝。 ・自分のことを考えてくれる人が回りにたくさんいる。 ・友達が特別扱いせずに関心してくれている。 <p>○おかあさんの「ありがとう、佐江子」という言葉にはどんな思いが込められているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気だったのに、母親のことを考えてくれてうれしかった。 ・一生懸命生きるということを教えてくれてありがとう。 ・あなたが自分の子どもであったことがうれしい。 <p>○家族とはどのようなものであると思いますか、書いてみましょう。</p> <p>自分にとって家族とはどのようなものであると思いますか。書いてみましょう。</p> <p>(生徒、保護者両者の文章を紹介する。)</p>	
	関 連	家庭科「家族と家庭生活」
授 業 改 善 の た め に	<p>・最後の発問は、佐江子さんの家族について書いているものもあり、誤解を与えたようだ。発問の練り直しが必要。</p>	

4 月	第 3 週	【主題名】 自主自律の精神
【資料名】 捨て猫の運命		【内容項目】 1—(3)
【ねらい】 自分の行為が及ぼす結果について深く考え、責任ある行動をとろうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 人間としての誇りをもって生きていくためには、自ら考え、判断し、実行の行為の結果に責任をもつことが求められる。したがって、深く考えずに不和雷同したり、責任を他人に転嫁したりするのではなく、自らを律することができなければならない。		
展 開 の 大 要	<p>1 (子猫の写真を見て) 下校途中でこんな猫が捨てられていたら、みんなはどうするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拾って帰る ・ 飼えないのでそのままにしておく ・ かくれて飼う ・ 人に見つかりそうなところに場所を移動させる <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①私が、お母さんに子猫を「責任をもってそだてる」と約束したとき、どんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で面倒を見るぞ。 ・ 捨てられたままだと、かわいそう。 ・ 私がなんとかしてあげないと。 <p>②子猫の面倒をみると言っていたのに、なぜ、次第に面倒をみなくなったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面倒くさくなった。 ・ 世話が思ったより大変だった。 <p>③動物を飼う責任とは、何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人まかせにしない。 ・ 自分でしっかり世話をすること <p>④私は、ダンボールに入れられ、捨てられた子猫をどうするべきなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そのまま立ち去る ・ 連れて帰る <p>資料の続きをよむ</p> <p>⑤「動物を飼う前に考えなければならないこと」とはどんなことなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後まで責任を持つことができるか考えること。 ・ よく考えて行動すること <p>3 心のノート p 24 を見て、物事を深く考えない自分がいないか振り返る。</p>	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノート (p 24)
授 業 改 善 の た め に	<p>③で動物を飼う責任について、もっと時間をかけて押さえるべき。</p> <p>3年生は、聞く力も話す力もあるのだから、生徒の言葉が足りないところを指導者が潰けてしまってはよくない。時間がかかっても生徒同士の話し合いから深めていくべき。</p>	

5月	第1週	【主題名】日々の心構え
【資料名】出船の位置に	【内容項目】1－(1)	
【ねらい】望ましい生活習慣の大切さを自覚し、生活を正していこうとする実践意欲を養う。		
【主題構成の理由】本校1年生は幼さが抜けておらず、望ましい生活習慣が確立している生徒が少ないようだ。それは授業をはじめとする学校生活や、生活ノートの記述からうかがうことができる。これからの生活がよりよいものになるよう、支援していく必要があると考える。		
展 開 の 大 要	<p>○家の人にしてもらわなくても、自分できちんとできることを発表してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝自分で起きる。 ・着替えを準備する。 ・ご飯の後片付け。 <p>○玄関で靴をそろえて脱いでいるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱いでいる。→なぜそのように心がけることができるのだろう。 ・脱いでいない。→なぜそのようにしてしまうのだろう。 <p>○資料を読もう。</p> <p>○水産高校の生徒たちの学校生活はどんなものだっただろう。想像してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベル着できない。 ・靴が散らかっている。 ・ゴミが落ちている。 ・自分勝手なところがある。 <p>◎「出船の位置に」靴をそろえるようになった生徒たちは、どういう考えを持つようになったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理することは大切だ。 ・先のことを考えて行動する。 ・人の迷惑にならない。 ・周りのことを考える。 ・自分勝手なことをしない。 <p>○毎日の生活の中で見直したり、改めたりしたいところを発表しよう。</p>	
関 連	特活（私の生活）、保健体育	
授 業 改 善 の た め に	<ul style="list-style-type: none"> ・「出船の位置」を写真や絵でイメージしやすいように。 ・「小さなことから」という生徒の発言を共有。 ・「習慣が変われば」→「人生が変わる」を紹介。 	

5 月	第2週	【主題名】自主的な判断
【資料名】アキラの選択		【内容項目】1 - (3)
【ねらい】他人の考えや行動に安易に影響されるのではなく、自主的に考え行動しその結果に責任を持つとする態度を養う。		
【主題構成の理由】		
展 開 の 大 要	<p>○4月の係り決めなどは、自分で判断して決めたのだろうか、それとも誰かの影響を受けたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めた。 ・仲のいい人と相談した。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○「もやもやした気持ち」になったのはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が理科を選択したことをリョウタが喜んでくれるかどうか自信がなくなった。 ・リョウタは自分でやりたいことを決めているのに自分はできていない。 ・リョウタは自分のことを思ってくれていないのではないか。 <p>○アキラの「選択」は正しい選択だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しくなかった。 ・正しいかどうかは、わからない。 <p>◎アキラが本当のことを話したら、リョウタはどんなことを言うだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で好きなものを選べばいいんだよ。 ・自分で選択しなかったら意味ないよ。 ・自分自身で決めないなんて情けないぞ。 <p>○理科に決まってしまったアキラにどんな言葉をかけてあげればいいだろう。今日の授業を振り返りながら書いてみよう。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動（中学校での生活） 	
授 業 改 善 の た め に		

5 月	第3週	【主題名】心と形
【資料名】おはよう（東京書籍）		【内容項目】2－（1）
【ねらい】あいさつの意義を理解し、時と場所に応じたあいさつをしようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】登下校時には職員室に顔を出し、あいさつをするなど、形としての習慣化はできているように見えるが、普段の生活の中であいさつの重要性を認識し、気持ちを届けようとするあいさつは十分できていない。心と形を一体化させたあいさつの大切さを理解する必要があると考えた。		
展 開 の 大 要	<p>1 登校時に職員室に「おはようございます」のあいさつをしにきているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・している。 ・ときどき忘れることもある。 <p>2 ある中学校の教師になった筆者が、声に出してあいさつすることが難しかったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なれていない。 ・はずかしい。 <p>3 筆者が「声に出すあいさつ」も意味のあるものだと感じられてきたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちがいい。 ・さわやかな気持ちになる。 <p>◎4 『おはよう』にもりっぱなのとそうでないのがある」とあるが、りっぱな「おはよう」とは、りっぱでない「おはよう」とは、それぞれどんな「おはよう」だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声がしっかり出ている。 ・気持ちが伝わる。 ・お互い気分よくなれる。 <p>5 「おはよう」「おはようございます」というあいさつをする時には、どんなことを心がけていけばいいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で相手に自分の気持ちを伝える。 ・相手に自分の気持ちが伝わるようにする。 	
関 連		
授 業 改 善 の た め に	<ul style="list-style-type: none"> ・2～4はテンポよく進める。 ・学級の話として考えさせる発問があれば。 ・時間をかけて考えさせたい。ワークシートの利用を。 	

5月	第4週	【主題名】努力する心
【資料名】木箱の中の鉛筆たち		【内容項目】1－(2)
【ねらい】困難にくじけることなく、前向きな気持ちを持って夢や目標に向かって努力していこうとする意欲を培う。		
【主題構成の理由】学習や部活動に対してまだ積極的になれない現状がある。自分の可能性を信じて頑張ろうとする意欲を持ち、今後の学校生活に生かして行ってほしいと思う。		
展 開 の 大 要	<input type="radio"/> 勉強やスポーツの才能がある人をうらやましく思ったことはないだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ある。 ・自分には才能がある。 <input type="radio"/> 目標や夢をかなえるための才能がなかったらどうすればいいだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・違う目標を持つ。 ・頑張る。 	
	<p>〔資料を読んで考える〕</p> <input type="radio"/> 「私」が父親に声をかけたことを後悔したのはなぜだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・父は初めから才能があり、私には才能がないことがわかったから。 ・才能がないから、物書きになるのは無理だと思ったから。 <input checked="" type="radio"/> ちびた鉛筆を見せられたとき、「私」はどんなことを考えたのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・父の努力のすごさに感心した。 ・自分も頑張らなくてはいけないと思った。 ・才能を作っていないと、と感じた。 <input type="radio"/> 「私」のお父さんのような努力を今までにしたことがあるか、振り返ってみよう。 <input type="radio"/> (心のノートP. 24) くじけそうなときどうする？	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノートP. 24 ・学級活動（中学校での生活） ・部活動 	
授 業 改 善 の た め に	<ul style="list-style-type: none"> ・数学、国語、運動に結びつけて具体的に。 ・才能があつてうらやましいという経験を教師自身が語ればいいのかでは。 ・中心発問を真ん中にすえながら板書を書く。 	

6月	第1週	【主題名】 個性や立場の尊重、謙虚、広い心
【資料名】 自分らしさ		【内容項目】 2 - (5)
【ねらい】 人それぞれの個性や立場を尊重し、他人からも多くのことを学びながら、自らの個性の発見と向上に努めようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 中学生の時期に、人にはいろいろなものの見方や考え方があることを理解させ、自分を客観的に見つめ、積極的に他に学ぼうとする謙虚な態度を身につけさせることは、自己を向上させるために大切なことである。		
展 開 の 大 要	<p>○個性とはどんなものだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所や特徴。 ・他人と違う目立つ点。 ・性格のようなもの。 <p>[資料を読んで考える]</p> <p>○松井の生き方の中で、共感できるところはどこか。その理由は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三冠王を逃した時 <p>松井：冷静な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友だちをかばったところ。 <p>松井：強い正義感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤクルト戦の話のところ。 <p>松井：相手の立場を尊重</p> <p>○松井はなぜ、その場そのときに、冷静な判断ができたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃から相手のことをいつも考え、認めることをしつけられていた。 ・人間としてすぐれた人にたくさん出会うことができた。 <p>◎松井の生き方から、自分の個性を生かして生活するために必要なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の個性を認め、相手から学ぶこと。 <p>○松井の中学生の頃のエピソードを話す。</p>	
	関連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p、60 - 63 ・部活動
授業改善のために		

6 月	第2週	【主題名】理想の実現
【資料名】「し」をかくひ		【内容項目】2 - (2)
【ねらい】 日ごろの自分たちの言動を見つめなおして、人間には思いやりの心が大切であることを理解し、他者に対して優しい心で接しようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】他の人とのかかわりの中で、思いやりの心を欠くことはできない。お互いの思いやる気持ちやそれに基づく行動が信頼を築き、安心感をもたらす。その結果として暖かで安心感のある社会を作ることができる。そのような社会でこそ、人は幸福に生活を営むことが可能になる。他者の立場を尊重し肯定的に受け入れる気持ちに支えられた思いやりの大切さを理解させたい。		
展 開 の 大 要	<p>○「やさしい人」とはどんな人のことだろう。</p> <p>○心のノート48ページの例についてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしくない人だ。 ・他人のことを思っているようで、実は分かっていない。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○動物の行動と人間の行動との違いはなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらかという、動物は本能で、人間は考えて行動する。 <p>○なぜみつるの「やさしさ」はどんなところにあらわれているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのむしを思いやっている。 ・あしたの分のかぜをだした。 ・みのむしを安心させた。 ・かぜを全部使った。 <p>◎「人間どうしが安心して生活する」教室とはどんな教室だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしさがあふれている教室。 ・お互いに思いやりがある教室。 <p>○「実現するのは難しい」とあるがそれはなぜだろうか。</p> <p>○どんな教室にしていきたいか。今日の授業を振り返りながら書いてみよう。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動（中学校での生活） 	
授 業 改 善 の た め に		

6月	第3週	【主題名】 日本のよさ
【資料名】 海棠と菜の花	【内容項目】 4－(9)	
【ねらい】 生まれ育った土地や国のよさに気づき、考え、国を愛するとともに、その伝統と文化を大切にしていこうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 わが国の身近な伝統や文化に目をむけ、そのよさを知り、誇りを持てるようにし、そのうえで他国を理解し尊重する心を育てていきたい。		
展 開 の 大 要	<p>○日本も含めて、知っている国を思い出していいなと思うことは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな家が多い。 ・日本には古い伝統文化がある。 <p>○アメリカへ行って、とても幸せだった、と言っているが、どうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカに行って実力が発揮できた。 ・日本では人間関係に気を使った。 <p>○日本とアメリカは、この人にとってはどのように違ったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカは男女平等。 ・日本は他人を気にするがアメリカは自分を大事にする。 <p>◎この女性が、海棠の花や「おぼろ月夜」に心をひかれたのはどうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社の人温かく迎えてくれて、人間関係が大切なものとわかった。 ・心配りがうれしかった。 ・自分はやっぱり日本人だと思った。 <p>○日本っていいなと思うことはどんなことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしく人の心を思いやる。 ・四季があり自然が豊か。 ・柔道、剣道、相撲、茶道、華道など昔からの伝統文化がある。 	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノートp、124－125 	
授 業 改 善 の た め に		

6月	第4週	【主題名】いじめを許さぬ強さ
【資料名】私がいじめた一人なのに…		【内容項目】4－(4)
【ねらい】いじめを許さぬ強さ		
【主題構成の理由】アンケートでは、いじめを受けている生徒の存在があきらかになった。またこれまでいじめをしていた、またいじめを受けていた経験のある生徒がいることも確認されている。いわゆるちょっかいを出したり、「死ね」という発言もあつたりといった問題もある。いじめを許さない心を持ち、行動でそれをあらわそうとする意欲を高めていきたい。		
展開の 大要	<p>○鵜川中学校で現在いじめられていると感じている人はどのくらいいるだろう。 〔アンケート資料を提示する〕</p> <p>○この数字を見てどう思うか。 ・意外に多い。 ・こんなものかもしれない。 〔資料を読んで考える〕</p> <p>○「菌まわし」が続いたのはなぜだろう。 ・自分がやられるのが嫌だ。 ・楽しいから。 ・アトピーだから。</p> <p>○自分の鉢の花を見て胸が苦しくなった、「私」の思いは、どのようなものか。 ・やさしい気持ちがある人を、いじめていた自分が許せない。 ・申し訳ない。</p> <p>◎「彼女」が毎日花を育てていかなかったら、いじめてもいいのだろうか。 ・いじめてはいけない。 ・いじめるのはしかたがない。 → 自分自身の問題として再度考えさせる。</p> <p>○「私」はどのようにして涙を流したのだろう。 ・「彼女」に対する心ない行動が許せなかった。 ・人の心を傷つける行為が許せなかった。</p> <p>○心のノート100ページを読もう。</p> <p>○今日の授業で感じたことや考えたことを書こう。</p>	
関連	<p>・心のノートP. 100</p> <p>・学級活動（中学校での生活）</p>	
授業改善のため		

7月	第2週	【主題名】権利と義務
【資料名】選手に選ばれて		【内容項目】4－(2)
【ねらい】集団と自己との関連を考え、権利を正しく主張するとともに、義務を遂行しようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】入学当初はきちんとできていた係活動だが、最近では忘れてたり手抜きをしたりと次第にいいかげんなところも見える。その原因は係活動を果たそうとする強い意思が失われているところにあると思われる。休み時間を好きなように使いたいという気持ちは尊重すべきだが、義務を遂行することによって生活しやすい環境をつくるということの大切さについて考えさせたい。		
展開の概要	<p>○他の人から仕事を押し付けられたら、やる気が出るだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やる気がでない。 ・必要ならやらなくてはいけない。 <p>[資料を読んで考える]</p> <p>○「出ようと出まいと、ぼくの自由」という意見についてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その通りだと思う。 ・嫌なことを無理に引き受ける必要はない。 ・みんなの決定だから、従うべき。 ・クラスのことを考えたら、少しぐらい我慢すべき。 <p>○「選挙で選ばれた以上出場する義務がある」という意見についてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その通りだと思う。 ・みんなの思いを受け止めるべきだ。 ・嫌なことを押し付けるのはよくない。 ・始めに一人ひとりの意見を聞いてから選挙したほうがいい。 <p>○この事件について、どうすればいいか、どうすればよかったのか考えてみよう。</p> <p>○今日の授業に題名をつけてみよう。</p> <p>○今日の授業で感じたことや考えたことを書こう。</p>	
関連	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動（中学校での生活） 	
授業改善のため		

9月	第1週	【主題名】誠実と責任
【資料名】増えた塩ます		【内容項目】1－(3)
【ねらい】自分の考えや行動に対して、誠実に責任を果たそうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】1学期の終わりに、かくれんぼをしていてドアを壊した生徒がいた。わざとではなかったが当該生徒も、それを見ていた生徒も職員室に連絡せず、そのままにしていた。このような態度は、自分の行為によってもたらされた結果について責任をとろうとせず、物事を軽く考えているところからくるのではないか。正直に責任を取ろうとすることは大変つらく、痛みをともなう。しかし、責任を果たすことによって、自律した自分を自分で確認し、すがすがしい気持ちになるものでもある。このような意味から、責任ということの大切さについて考えさせたい。		
展 開 の 大 要	<p>○授業者の経験を聞く。</p> <p>○同じような体験について話し合う。 (出てこなければ、あまり引っぱらない。)</p> <p>[資料を読んで考える]</p> <p>○州男の立てた作戦について、どう思うか。 ・セコイ。・卑怯。・ずるい。・わかるような気がする。・自分も同じようにするかも。</p> <p>○父にしかられた時の気持ちはどうだったか。 ・こわい。・しかたがないから、あやまりに行こう。</p> <p>○州男の気持ちに大きな変化があらわれるが、それはなぜだろう。 ・ほめられてうれしくなった。 ・正直に言えたので、すっきりした。</p> <p>○今日の授業に題名をつけてみよう。 ○今日の授業で感じたことや考えたことを書こう。</p>	
	関 連	・学級活動(中学校での生活)
授 業 改 善 の た め に		

9月	第2週	【主題名】人間愛
【資料名】ヒロシマのうた		【内容項目】2-(2)
【ねらい】他の人とのかかわりの中で、温かい人間愛にもとづく信頼関係を築きながら希望を持って生きていこうとする意欲を高める。		
【主題構成の理由】日々の生活をほとんど不自由なく送っている中で、その生活が生徒相互や家族、あるいは社会の信頼関係に支えられていることを自覚する機会は少ない。つつい自己中心的な思いを抱きがちである。しかしお互いの思いやりを信頼し、その信頼を意識することでより心豊かな生活を送ることができるであろう。中学校生活にも慣れ、惰性に流されがちな1年生にとって、人間愛について改めて考える機会を持つことは意味あることと考える。		
展開の概要	<p>○戦争で親を亡くした子どもたちは、どのようにして生きていったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で働いた。 ・親戚が育てた。 ・施設にあずけられた。 <p>[資料を読んで考える]</p> <p>*「ラジオ放送」「名札」について簡単に解説する。</p> <p>*登場人物の確認を簡単にしておく。</p> <p>(身内である、なしを意識しながら以下を考える。)</p> <p>○あかちゃんをしっかり抱いて死んだお母さんの思いを想像してみよう。</p> <p>○なぜ「わたし」は2度も広島にでかけたのだろう。</p> <p>○「今度こそ、ほんとうにヒロ子のお母さんになります」といったお母さんは、どんな気持ちだったのだろう。</p> <p>○ヒロ子はなぜ徹夜でワイシャツを作ったのだろう。</p> <p>◎「わたし」「ヒロ子のお母さん」「ヒロ子」の3人の人がらや心の動き(心情)に共通するものは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことよりも、他の人のことを大事に考えている。 ・つらい立場にある人に対して、やさしく接しようとしている。 <p>○今日の授業で感じたことや考えたことを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやる気持ちは大切だ。 ・つらいことがあっても、やさしい気持ちを忘れないでいたい。 	
関連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノートP. 50 (思いやる心は、きっとあたたかい) ・社会(歴史) 	
授業改善のために	<ul style="list-style-type: none"> ・導入が終末にうまくつなげられていない。 ・補助発問が中心発問にうまく収斂してっていないのではないか。 	

9月	第3週	【主題名】正しい異性理解と人格の尊重
【資料名】アイツ		【内容項目】2-(4)
【ねらい】男女がそれぞれの立場や考えを理解しあい、協力して、互いに人間として尊重しようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】思春期を迎え、異性に対する関心が高まってきている。ところがその関心の高まりとうまく折り合いをつけることができず、異性を避けようとしたり、相手の嫌がる言動をとってしまったりすることがよくある。これは自然な現象ではあるが、興味本位の関心を高めるのではなく、互いのよさを認め合い、人格を尊び、向上しあえる関係を築いていくようにしたいものである。		
展開の概要	<p>*心のノート58ページを見ながら考える。</p> <p>○異性を好きになると、どんな感じになるだろう。</p> <p>・すべてが上の空。 ・会いたくてしかたがない。</p> <p>〔資料を読んで考える〕</p> <p>○二か月間口をきかなかった二人の気持ちはどんなだったろうか。</p> <p>(真一)とまどっている。 困っている。 反省している。 仲直りしたいけど、できない。</p> <p>(夏樹)許せない。 もう許してあげようかな。 さびしい。 真一と同じ気持ち。</p> <p>○ようやく口をきいた日の夜、二人はどんなことを考えていたのだろう。</p> <p>(真一) やっぱり俺のことが好きなのかな。 意外とやさしいところがあるんだな。</p> <p>(夏樹) 話ができうれしい。 私は真一のことが好きなんだ。</p> <p>◎二人に必要だったのはなんだろう。</p> <p>・お互いのことを思いやる心。 ・相手のよさを認める態度。 ・相手に対する優しい気持ち。</p> <p>○今日の授業に題名をつけてみよう。</p> <p>○今日の授業で感じたことや考えたことを書こう。</p>	
関連	<p>・心のノートP58。(好きな異性がいるのは自然)</p> <p>・保健体育科 心身の機能の発達と心の健康</p>	
授業改善のために	<p>・中心発問は「二人に<u>共通して</u>必要だったものは何だろう。」という意味なので、発問の文言の工夫をする。「二人とも・・・」という表現で書かせてはどうか。</p> <p>・中心発問の前に「お互いにどうなりたかったのか？」という補助発問を入れると良かったのではないか。</p> <p>・異性理解というところにいきにくい資料ではないか。</p>	

9月	第5週	【主題名】 友情の尊さ
【資料名】 ちいちゃんをつめ		【内容項目】 2 - (3)
【ねらい】 友だちは、わけへだてなく相手のよさを認め、互いに助け合い、励まし合う真の友情を育てようとする意欲を高める。		
【主題構成の理由】 中学生の時期には、次第に自我が芽生え仲間集団への帰属意識が強くなり、頼りになる友だちを求め、忠告や励ましを期待するようになる。友情とは何かを考えることから、よい友人関係をつくっていくことが期待される。		
展 開 の 大 要	<p>○友だち、親しい友人とは、どういう関係か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のよさに気づく。お互い助け合う。励ます。忠告しあう。 <p>○統計グラフアンケートから、鶴川中の悩みアンケートでは、悩みを話せる人は誰？</p> <p>[資料を読んで考える]</p> <p>○千津子を長距離走の選手に選んだのはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押し付けて困らせよう。 <p>○長距離走の選手の選ばれたときの千津子の気持ちはどうだったと思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ自分をいじめるのか。悲しい。 ・みじめ。 <p>◎千津子は、どうして、長いつめを短く切ってきたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でも反省しようと自然に思えるようになった。 <p>○もう一度、友だちとはどういうものだろうか。</p> <p>○教師の説話を聞く。</p>	
	関連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 49 「きみにはあるよ、こんないいところ」
授業改善のために		

10月	第1週	【主題名】 やり抜く心
【資料名】 九番バッター		【内容項目】 1－(2)
【ねらい】 物事に勇気を持って取り組み、自分で決意したことをねばり強くやり遂げようとする意欲を高める。		
【主題構成の理由】 入学当初抱いていたであろう夢や希望も、毎日の生活の中で次第に漠然としたものになっている。がんばってもどうせ無理なのだと、自分で限界を作り言い訳で逃げようともする。中学校生活に慣れるにつれて、		
展開の 大要	<p>○試合の後に泣いた経験はあるだろうか。</p> <p>・ない。 ・ある。 ・負けて悔しくて泣いた。</p> <p>○強い意志を持って何かをやり抜いた経験はないか。 (あまり時間をかけないようにする。)</p> <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○1年生のときは、どのような気持ちで部活動をしていたのだろう。</p> <p>・レギュラーになれるかな。 ・がんばろう。 ・つまらないし、やめようかな。</p> <p>○「九番にしかできない自分に不満と嫌悪をいただいていた」のはなぜか。</p> <p>・才能がない自分が嫌だ。 ・他の人の能力の高さに追いつけないと思ったから。</p> <p>○バントのうまさを認められたとき、どのような気持ちになったのだろう。</p> <p>・うれしかった。 ・自分のできることがわかってうれしい。</p> <p>◎涙を流した「わたし」に対して、言葉をかけるとしたら、どんな言葉をかけるか。</p> <p>・3年間よくがんばったね。 ・最後は負けたけど、いい試合ができたね。</p> <p>○部活動をどんなふうに終わりたいと思うか。またそれはどのようにして実現できるのだろう。</p> <p>・毎日たくさん練習して全国大会で優勝したい。 ・つらいことを乗り越え、最後まで続けていきたい。</p>	
	関連	<p>・部活動</p>
授業改善のために		

10月	第2週	【主題名】 公德を尊ぶ心
【資料名】 島 耕作 ある朝の出来事		【内容項目】 4－(2)
【ねらい】 公共の場での適切な態度を考え、実行しようとする。		
【主題構成の理由】 気持ちよく社会生活を送るためには、社会の構成員一人一人の公德心に基づく具体的な行動が不可欠である。ところが、公德心をいざ実践に移そうとするとさまざまな障害が生じる。恥ずかしさや面倒くささ、自己中心的な考えなどが頭をもたげてしまう。実践には勇気が必要である。また、よりよい社会の実現のためには、実践する勇気を持つだけでなく、その実践を効果あるものにしていくため、他人の立場について想像力を働かせるいわば配慮も大切である。公德心の適切な表現の方法についても考えさせたい。		
展 開 の 大 要	<p>○心のノート p 96 を示し、公德心のない人を具体的にイメージさせる。</p> <p>《資料を読んで考える》</p> <p>① サラリーマンと島耕作とを比べよう。公德心があるのはどちらの方だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「島のほう。サラリーマンは自分のことしか考えていない。」「島は親切な気持ちがある。」 ・「島もムキになって、議論に勝つことしか考えていない。」「満員電車で口げんかは他の人に迷惑。」 <p>公德心があるのは島耕作であるという回答が予想される。しかし島耕作にも欠けているところがあるということに気づかせたい。</p> <p>② 二人に必要なだったのはどんな心だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公德心。」「相手のことを思いやる心。」「周りに迷惑をかけないようにする心。」 <p>「公德心」という言葉だけで終わるのではなく、掘り下げて考えさせたい。</p> <p>③ 同じ電車の中で起こった出来事です。「ある朝の出来事」とどこが違うのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『すみません』とか『申し訳ない』という言葉があり、思いやりがある。」 ・「相手に不愉快な思いをさせないように気遣っている。」 <p>④ 今日の道徳で何を学んだのか。書いてみよう。</p> <p>公共の場で、やわらかい心にもとづいた適切な態度をとろうとする記述がある。</p> <p>⑤ 詩「せともの」を聞く。</p>	
	関連	特別活動「奉仕活動」
授業改善のために		

10月	第3週	【主題名】優しい心
【資料名】おばあちゃんの指定席	【内容項目】2-(2)	
【ねらい】人は互いに支え合って生きていることに気づき、思いやりの心をもって人と接しようとする心情を育む。		
【主題構成の理由】学級や部活動などで他者に対して、配慮を欠く発言や行動をしてしまいがちな生徒がいる。優しさや思いやりということを知らないわけではないが、それを表現するだけの心の余裕がないようである。優しい心が人も自分も温かい気持ちにさせるのだということを理解させたい。		
展開の 大要	<p>《資料を読んで考える》</p> <p>⑤ おばあさんの嬉しそうな顔を見て、もっとうれしくなったゆう子の気持ちを想像してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんに感謝されて、うれしい。 ・いいことをしたことが認められてうれしい。 <p>⑥ おばあさんとの約束があるのに、ゆう子が男の人に席をゆずろうと思ったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の人が困っているから。 ・まず男の人を助けようと思った。 ・目の前にいたから。 <p>⑦ ゆう子は、どのような思いで、おばあさんに席がないことを伝えたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束を守れなくて、すまない。 ・おばあさんがかわいそうだ。 ・自分のしたことに自信が持てなくて不安だ。 <p>⑧ ゆう子はなぜ「小さな声」でおばあさんに言ったのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すまないと思っているから。 ・男の人に聞かれないようにしたかったから。 <p>⑨ 笑顔で大きくうなずいたおばあさんは、ゆう子に何と言ってあげたかったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人にも優しい気持ちを持っているのは、大切なことです。 ・泣かなくてもいいのよ。あなたのしたことは正しかったのよ。 <p>⑩ 心のノート「親切が親切を生む」を読み、今日の授業を振り返って感想を書く。</p>	
	関連	特別活動「奉仕活動」
授業改善のために		

10月	第4週	【主題名】決まりの意義
【資料名】人に迷惑をかけなければいいのか？		【内容項目】4-(2)
【ねらい】きまりの意義を理解し守ることで、自他の権利を重んじ、よりよい社会を作ろうとする態度を育成する。		
【主題構成の理由】自分勝手な判断が、結局周囲に大きな迷惑をかけてしまう結果を招くことはよくある。ところが「この程度ならいいだろう」という甘い考えは、誰でもが持ってしまうがちである。ところがそう考えているときには、最終的に他人にどんな迷惑をかけてしまうのかという想像力が働いていない。想像力を働かせ、きまりを尊重することの大切さを考えさせたい。		
展開の概要	<p>○きまりは何のためにあるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いが気持ちよく生活するため。 ・混乱しないため。 ・偉い人に都合がいいから。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○先生の注意に納得できなかったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰にも迷惑をかけていない。 ・理由も聞かれず、一方的に叱られたから。 <p>○空き瓶をたたきつけたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝からしかられてムカついていたから。 ・瓶のせいで転んだので、腹が立った。 <p>○空き瓶をたたきつけたとき、パンクの原因になるかもしれないと思っていたらどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思っていない。 <p>○先生の手が肩におかれたとき、「僕」はどんな気持ちがあったらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんなことをしなければよかった。 ・先生の言っていたことがわかった。 <p>◎駐車場を通り抜けたことによる迷惑をかけたわけではないから、これからも駐車場を通ってもよいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ってもみない結果になることもあるので、やはりきまりは守らなくてはいけない。 ・気がつかなくても迷惑をかけているかもしれない。 <p>○「心のノート」 ページを読む。</p>	
関連		
授業改善のために		

11月	第1週	【主題名】自主的な判断
【資料名】合唱コンクール		【内容項目】4-(7)
【ねらい】学校生活の中で自分の役割を果たし、よりよい学校をつくっていかこうとする意欲を高める。		
【主題構成の理由】中学1年生はまだまだ学校への帰属意識が低く、自分たちの学校を自分たちの力で作っていかこうとする意欲にとぼしい。上級生や教師の決めたルールに乗りながらの生活が続いている。学校行事や生徒会活動にたいしても積極的に発言することは少ない。しかし彼らとて、やがては上級生として先頭に立ち、この学校を牽引していかなくてはならない。自分たちの所属する集団のよりよい発展を願う気持ちを高めていきたい。		
展 開 の 大 要	<p>○文化祭の全校合唱を振り返ってみよう。どんな気持ちで練習していただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だんだん上手になっていってうれしかった。 ・音をとったり、歌詞を覚えたりで苦労した。 ・集中力が続かなかった。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○「(やりたくないのにやられてるか)」という考え方に共感するか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しない。そんな気持ちではいけない。 ・する。やらなくてははいけないということはわかっていても、嫌になることはある。 <p>○神田君はどんな気持ちで「このままでいいのか」という発言をしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みすばらしい合唱になってしまう。 ・このままだと負けてしまう。 ・みんなのやる気が見られない。元気を出して歌わなければ。 ・学級がバラバラになってしまう。 ・指揮の芳賀君に申し訳ない。 <p>○「ぼくは満足感でいっぱいだった」とあるが、どんな点で満足だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すばらしい合唱ができた。 ・多くの人に認められた。 ・学級が一つになることができた。 ・神田君が自分のことを理解し、助けてくれた。 <p>○「すばらしい学級」にするには、どんなことを心がけたらいいだろう。</p>	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭（全校合唱など）
授 業 改 善 の た め に		

11月	第2週	【主題名】良心のめざめ
【資料名】銀色のシャープペンシル		【内容項目】3-(3)
【ねらい】内なる良心の声を自覚し、自分を奮い立たせることと、目指す生き方に近づこうとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】自分の責任であるにもかかわらず、言い逃れや言い訳をして、その責任から逃れようとする態度は、中学生には特にありがちである。しかしそれは多かれ少なかれ誰にでもあることではないだろうか。そんな弱さや醜さを自覚すると同時に、それを克服しようとする気高さも人間はあわせもっているのだということを理解し、よりよい生き方に近づこうとする心情を育みたい。		
展 開 の 大 要	《資料を読んで考える》	
	① 拾ったシャープペンシルを「自分で買った」と言ったのはなぜだろう。 ・盗んだと思われなくなかった。 ・ごまかそうとした。	
	② 卓也のロッカーにペンを返した「ぼく」をどう思うか。 ・卑怯なやりかた。 ・返すだけでした。 ・「自分で買った」といった手前、直接返すことはできないから、気ちはわかる。	
	③ 卓也からの電話を受けて、「ぼく」の顔が真っ赤になったのはなぜだろう。 ・卓也は正直に自分の非を認めているのに、自分は卓也をだましているから。 ・自分がはずかしくなって。	
	④ 「ぼく」が卓也の家に向かっていくときの気持ちを想像してみよう。 ・すがすがしい。 ・すっきりした。 ・晴々した気持ち。 ・「卓也」が許してくれるかどうかの不安もある。	
⑤ 「良心の声を聞こう」を読み、今日の授業を振り返っての感想を書く。		
関 連		
授 業 改 善 の た め に		

11月	第3週	【主題名】 明るい家庭
【資料名】 母はおいしい		【内容項目】 4－(1)
【ねらい】 家族は互いに信頼し合い、感謝し合って、温かく健全な家庭を築いていこうとする心情を養う。		
【主題構成の理由】 4月に「家族のきずな」という主題で授業をおこなった。今回は前回と違い、より身近な資料を使い、自分の家族と引き比べて考えるようにしたい。		
展開の概要	<p>《資料を読んで考える》</p> <p>○「母はおいしい」とは、どういうことだろうか。また、そのことについてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族一人一人のことを心の中にしまっておく。 ・つらいことや悲しいことも、あまり表に出さず隠しておく。 ・家族の思いを受け止め、心にとどめておく。 ・いい思い出もつらい思い出も全部記憶している。 <p>◎「母」の子になったつもりで、言葉をかけてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしの気付かないところでいろいろ考えてくれているんだね。 ・家族に対する気遣いは、たいへんだろうと思います。気付いたことがあったら何でも話してください。 ・普段は明るいお母さんだけど、ほんとうはみんなのことを真剣に考えてくれていたんだね。ありがとう。 <p>○心のノート112ページからを読む。</p> <p>○心のノート115ページ「子どもにはどうあってもらいたい」を記入する。</p>	
	関連	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育 ・社会（公民）
授業改善のために		

11月	第4週	【主題名】生命の尊さ
【資料名】花に寄せて		【内容項目】3-(2)
【ねらい】かけがえのない命の尊さを自覚し、人間としての誇りを持って力強く生きようとする意欲を高める。		
【主題構成の理由】祖父母の死などを通じて、生命について考えるきっかけを得た生徒も何人かはいらざるはずである。またその一方で、「死ね」といった安易な言葉遣いをしてしまうなど、生命の尊さを軽視した言葉遣いをする生徒も多い。このようにさまざまな生徒がいる学級で、今一度「命の尊さ」についてしっかり考える時間を設けることで、自他の命を尊重し力強く生きていこうとする意欲を高めていきたい。		
展 開 の 大 要	○星野さんの絵と詩を紹介する。(スクリーンに映写する。)	
	<p>《資料を読んで考える》</p> <p>○もっとも深い感銘を受けたところはどこか。話し合ってみよう。 (自由に語らせ、その場所を選んだ理由も簡単に聞く。)</p> <p>○展覧会を見た人々の言葉や「語りかけ帳」から、どんなことが分かるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星野さんの絵が、感動を与えた。 ・障害に負けずに生きている姿に心を動かされた。 ・星野さんの頑張っている姿に勇気もらった。 <p>◎星野さんが障害に負けずにがんばれたのは、なぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のできることを精一杯やろうとしたから。 ・お母さんの愛情があったから。 ・周りの人の理解や支えがあったから。 ・絵を好きになりそれを一生懸命やってきたから。 <p>○今日の授業を振り返って感想を書こう。</p>	
関 連		
授 業 改 善 の た め に		

1 2 月	第 1 週	【主題名】 誠実な行動と責任
【資料名】 裏庭でのできごと		【内容項目】 1 - (3)
【ねらい】 自分の行為が及ぼす結果を深く考え、誠実に責任をもつことのできる行動がとれるよう判断力を高める		
【主題構成の理由】 掃除用具庫のドアを壊してしまったにもかかわらず、本人もそれを見ていた生徒も職員室に報告しなかったという出来事が一学期にあった。自分の行為に責任を持つ姿勢に欠けていたといわざるを得ない。しかしこのような出来事はよくあることではないだろうか。自分で判断し行動しようとする意欲が高まるこの時期に、「責任」について考えるのは意味がある。		
展 開 の 大 要	<p>○学校のガラスを割ってしまって、その時だれも見えていなかったらどうするだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正直に報告しに行く。 ・知らんふりをするかもしれない。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○大介が二枚ともひなを助けるために割ったと先生に言ったとき、健二はどう思っただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助かった。おかげで怒られなかった。 ・本当のことを言わなくていいのだろうか。 ・自分が卑怯な気がする。 <p>○次の日登校するまでに、健二はどんなことを考えていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当のことをいうべきか、迷っている。 ・雄一はどう考えているんだろう。 <p>◎職員室に向かう健二はどんなことを考えていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うそをついていたらいけない。 ・自分がやったことは素直に言わなくては。 ・さっぱりした気分だ。 ・大輔にどう思われるだろう。 <p>○昨日までの健二に足りなかったものは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勇気。 ・本当のことを言う気持ち。 ・責任感。 ・慎重な行動。 <p>○「真の勇気は第三の目撃者がいない場合に示される。」という言葉の中の「真の勇気」とはどんなことをいっているのだろうか。</p>	
関 連		
授 業 改 善 の た め に		

1 2 月	第 2 週	【主題名】 正義を求めて
【資料名】 正義ってなに？		【内容項目】 4 - (4)
【ねらい】 正義は、人間としての正しい在り方、正しい道筋を示していることを理解し、その実現に努める意欲を高める。		
【主題構成の理由】 意見と意見のぶつかり合いは、どのような集団においても起こりうるものである。その際にいずれの側も「われこそは正しい」という主張をしがちであり、対立が先鋭化してしまうこともある。より広い視点で「正義」をとらえることによって、自分本位の「正義」を乗り越えていく姿勢が必要であると考えます。		
展開の概要	<p>○「正義」とはどんなものだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいことをすること。 ・弱い人を助けること。 <p>○「正義」を貫くことは大切なことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切だ。 ・大切だが難しい。 <p>○また「正義」と「正義」の対立はあるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・人によって考える正義は違うかもしれない。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○キャロルの言動についてどう思うか。それはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・張り切りすぎ。 ・一方的。 ・悪気はないが、人のことを考えていない。 <p>○ルーシーたちの言動についてどう思うか。それはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちはわかる。 ・いじめと同じだ。 ・やりすぎだと思う。 <p>○それぞれが正しいと思ってやっていることだが、いったいどのようにしたらうまくいくのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いのことを大切にする。 ・よく話し合う。 <p>○「正義」を求め、「正義」を貫くためには、どうしたらよいのか、今日の授業を振り返りながら、文章にまとめてみよう。</p>	
関連	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動 ・生徒会活動 	
授業改善のために		

1 2 月	第 3 週	【主題名】働く喜び
【資料名】山奥の請け負い配達夫さん		【内容項目】4 - (5)
【ねらい】勤労の尊さを理解するとともに、すすんで責任を果たして社会に奉仕し、公共の福祉に貢献する態度を育てる。		
【主題構成の理由】勤労には収入を得るという目的がある。しかしそれだけでなく勤労を通じて社会とかかわり、社会に貢献するという側面もまた大きい。中学生は地味な仕事や苦しい仕事を避け、見た目の華やかさなどに気持ちを奪われがちだが、地道に勤労することの大切さを汲み取らせたい。		
展 開 の 大 要	<p>○学校での掃除活動をサボりたい、あるいは手を抜きたいと思ったことはないだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある。面倒くさい。 ・自分から進んでやろうとは思わない。 ・ない。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○渡辺さんが、30年もの間、請け負い配達夫さんの仕事を続けているのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習慣になっている。 ・村の人との触れ合いが楽しみだから。 ・他にこれといった収入の道がないから。 ・人の世話をするのが好きだから。 ・みんなに喜んでもらえるから。 <p>○渡辺さんの人柄や生き方をどのように感じるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謙虚でひかえめなところが素晴らしい。 ・一つのことを続けるのは大変だと思う。 ・当たり前のことを当たり前のようにしてやれるのはすごい。 ・人のために働く姿がえらいと思う。 <p>◎私たちはなぜ働くのだろうか。渡辺さんの生き方から考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に喜んでもらうため。 ・収入を得るため。 ・人と出会い、触れ合うため。 ・みんなと一緒に幸せになるため。 	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験
授 業 改 善 の た め に		

1月	第1週	【主題名】 誠実な生き方
【資料名】 デンさん		【内容項目】 1－(3)
【ねらい】 目先のことにとらわれず、常に自主的に考え、誠実に実行することにより、生きがいのある生活を追求しようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 中学1年生は狭い視野でしか物事をとらえられず、他人のことよりも自分を中心に考え行動しがちである。目先の利益についひかれてしまい、人として何が大切なのかを見失ってしまうことも多い。本当の幸福は誠実に生きることによって実現できるということを理解させたい。		
展 開 の 大 要	<p>○自分のしたことが、他の人からよろこばれたり感謝されたりした経験について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷物を持ってあげたら、喜ばれた。 ・先生の忘れものを届けたら感謝された。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○デンさんが、仕事以外のことでも他人のためにいろいろなことをしようとするのは、どんな気持ちからか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が喜んでくれるから。 ・困っている人を助けるのはあたりまえだから。 ・仕事の面でもよい影響があるから。 <p>○デンさんが町じゅうの人たちから親しまれ、愛されているのは、デンさんのどんな姿が知られているからか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事以外のことでも、一生懸命人のためにやってくれるから。 ・どんなことでも嫌がらず引き受けてくれるから。 ・自分のことよりも他人のことを考えてくれるから。 <p>◎デンさんはなぜ「明るくて楽しそう」なのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもに人の役に立ち喜ばれているから。 ・自分で進んで人の役に立っているから。 <p>○「明るくて楽しい」生き方をするためにあなたが実行していけそうなことはどんなことか。</p>	
	関 連	
授 業 改 善 の た め に		

10月	第2週	【主題名】 かけがえのない自然
【資料名】 飛べ、アホウドリ		【内容項目】 3－(1)
【ねらい】 自然と人間とのかかわりについて考え、自然を愛し、保全に努めようとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 豊かな自然に囲まれて生活している本校の生徒たちだが、必ずしも自然と豊かな関係を築いているというわけではない。テレビやゲームなどに興じて、自然とのふれあいやかかわりが少ないという現状がある。人間は自然とのかかわりなしには生きてはいけない。自然を理解しこれを守っていかうとする思いを強くさせていきたい。		
展開の概要	<p>○「自然」について考えたい。「自然」をこれからどうしていきたいか。どうしていくべきか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守っていききたい。 ・破壊しないようにしたい。 ・残していく。 ・上手に利用していく。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○作者が、アホウドリの保護に取り組もうと思ったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その美しさにひかれたから。 ・誰もやる人がいなくて、自分しかいないと思った。 <p>○アホウドリを保護するために、作者はどのような努力をしたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世間に訴えた。 ・卵を守ろうとした。 <p>◎「海は広いようでせまい」とは、どのようなことを訴えているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が汚した海は、自分たちに跳ね返ってくるということ。 ・自分の責任で海を守らなくてはいけないということ。 ・すぐに汚れてしまうということ。 <p>○ツキノワグマの石川県内における増加傾向と人間に与えた影響についてどう考えるか。 (増加データ、出没データなどを示す。また人に被害を与えた例を紹介する。)</p> <p>○ツキノワグマもアホウドリも野生動物である。野生の生き物も含め、私たちは自然とどのように関わっていったらいいのだろうか。</p>	
関連	・理科	
授業改善のために		

1月	第3週	【主題名】自然のすばらしさ
【資料名】木の命 木の心		【内容項目】3-(1)
【ねらい】自然の偉大さに感動するとともに、人間と自然とのかかわりの中に生み出される美しいものに感動する心情を養う。		
【主題構成の理由】。		
展 開 の 大 要	<p>1. 法隆寺の写真を見てみよう。</p> <p>○法隆寺のすばらしいところはどんなところかをスライドで見よう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹齢1000年以上の木が使われている。1300年たっても美しい姿。 <p>2. 「木の命 木の心」を読んで話し合う。</p> <p>○古代建築のすばらしさについて、作者はどんなことを言っているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千年のひのきは千年の以上持つ建造物ができる。 ・木の性格を知るために山に入って用材を選ぶ。 ・くせ、ねじれ、個性を見抜いて建てる。 ・技や知恵で法隆寺を長く残す。 <p>[留意点]大自然の命と人間の命のかかわりについて引き出す。</p> <p>○作者が檜の原始林に入って、思わず頭を下げてしまったのは、どうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神々の立ち並ぶ姿に感じてしまう。 ・2千年もの命に雄大に生きている姿に感動する。 <p>[留意点]人間の力を超えたものに対して素直に感じ取る心をわからせたい。</p> <p>○「木に申しわけがたたない」「木の性格を知る」「木も自然の分身」「木の命と人間の命の合作」というような言葉から、どのようなことを連想するか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それを生かして大切に使う。 ・木も人も自然の中で生かされている。 ・自然と人間が力を出し合って仲良くする。 <p>[留意点]自然と共に生きる人間の愛着と自然を大切に生かそうとする感謝の気持ちを感じ取らせる。</p> <p>○身の回りの自然の中で、すばらしいと感じた経験があったら、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな花。 ・鉄筋コンクリートより、木がこんなに強いとは思わなかった。 ・木はやさしく温かみがある。 <p>[留意点]人間の力では及びもつかないすばらしいものがあることを気づかせたい。</p> <p>○教師の説話を聞く。</p>	
	関連	・
授 業 改 善 の た め に		

2月	第1週	【主題名】 よりよい集団づくり
【資料名】 小さな一歩		【内容項目】 4－(1)
【ねらい】 集団の一員としての役割と責任を自覚し、協力し合って集団生活の向上に努める態度を育成する		
【主題構成の理由】 中学生は、生徒会や学級などの組織に所属し、自主性を発揮しながら活動を展開している。ところが組織への適切な貢献に積極でない生徒や逆に、自己と組織とを同一化してしまい排他的な感情を持ってしまう生徒もいる。集団や組織の一員として自覚を深め、自分の役割や責任、またそれを果たしたときの充実感などについて考えることが、これからの中学校生活を充実したものにしていけると思われる。		
展 開 の 大 要	<p>○生徒会や学級の班活動でうまくいかないという経験はないだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番を忘れてしまった。 ・ちゃんとやってくれない人がいる。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○理恵が、真一や他の委員のことを「許せない」と思ったのはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんと活動してくれないから。 ・決めたことを守ろうとしないから。 <p>○他の委員たちは、理恵のことをどう感じたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偉そうにしている。 ・きびしい。 ・気が強い。 <p>○麻衣と話をしている、理恵が「ドキッとした」のはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も花のことを忘れていたから。 ・他の人をいいかげんだと批判していたけれど、自分も同じだったことに気づいたから。 <p>○みんなで委員会活動を進めるために、理恵はどんなことが大切だと気づいたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが自分たちのこととして考えることができるようにする。 ・それぞれの個性が生かせるようにする。 	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動、学級活動
授 業 改 善 の た め に		

2月	第2週	【主題名】郷土を愛する心
【資料名】娘のふるさと		【内容項目】4－(8)
【ねらい】地域社会の一員としての自覚をもち、郷土を愛し、その発展に努めようとする実践意欲を培う。		
【主題構成の理由】能登に生まれ能登に育ちつつある生徒ばかりである。代り映えのしない日常生活に飽いて都会にあこがれる気持ちが強くなるころである。しかしどんなところに住んでいようと、その土地とそこに住む人々を理解し、主体的に関わっていこうとする姿勢がなければ、自らの生活も後ろ向きのさびしいものとなる。積極的に地域とつながっていこうとする気持ちを育みたい。		
展開の概要	<p>○東京や大阪などの都会で暮らしてみたいと思うか。</p> <p>・思う。楽しそう。便利。コンサートに行ける。 ・思わない。うるさそう。</p> <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○東京に住んでいた健司が、故郷にぬくもりのようなものを感じたのはどうしてだろう。</p> <p>・知っている人がいるから。 ・おたがいに知り合いで、優しい人が多いから。</p> <p>・家族がいるから。</p> <p>○健司が「娘のふるさとはここではないか」と思ったのはなぜだろう。</p> <p>・娘はここで生まれて、ここが好きだから。 ・友達がたくさんできているから。</p> <p>◎「自分にとっても妻にとってもここはふるさと」と思い始めている健司は、これからのこの土地でどのように暮らしていくのだろう。</p> <p>・地域の人たちとつながりを持つとする。 ・地域のことを知り、行事などに参加していく。</p> <p>○「ふるさと」ってなんだろう。</p> <p>・心がやすらぐ場所。 ・自分でよくしていくところ。 ・今住んでいるところ。</p>	
関連	<p>・総合的な学習の時間「地域学習」</p>	
授業改善のため		

2月	第3週	【主題名】国際社会への貢献
【資料名】日本から来たおばさん		【内容項目】4－(10)
【ねらい】広く人類の幸福のために貢献しようとする態度を高める。		
【主題構成の理由】能登半島に生まれ育ち、外国や他民族の存在を具体的直接的に意識してこなかった生徒が多い。しかしこれからは急激な国際化の流れの中で、互いの文化を理解した上で世界人類の幸福に貢献していこうとする姿勢が求められる。そしてその貢献の中に、喜びを感じることができるのだということを理解させたい。		
展 開 の 大 要	<p>○英会話教室のパンフレットなどには「国際人」という言葉があるが、これはどういう人のことだろう。「国際人」という言葉からどんなことを連想するか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語がペラペラな人。 ・3か国語くらい話せる人。 ・世界を舞台に活躍する人。 ・すごい感じ。 ・カッコいい。 <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○小林さんが仕事を進めるうえで、一番気をつかったのはどのようなことか。それはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その土地の習慣を大事にする。 ・正しいことを押しつけるのではなく、現地のやり方にあった方法を考える。 ・反発されたら何もできないから、まず理解してもらおうようにする。 <p>◎小林さんは「国際人」だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際人だ。→○どうしてそのように言えるのだろうか。 <p>○心のノート128～129ページ「世界の平和と人類の幸せを考える」を読み、本時の感想を書く。</p>	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動（中学校での生活）
授 業 改 善 の た め に		

3月	第1週	【主題名】広い心
【資料名】二度と通らない旅人		【内容項目】3－(3)
【ねらい】人間には弱さと醜さとともに、それを克服する強さ気高さがあることを自覚し、過ちを改めてよりよく生きようとする心情を養う。		
【主題構成の理由】自分のことを中心に考えがちで自己の利益にならないことには積極的になれない中学生が多い。このような態度は、見方を変えれば、他人に対して無関心で思いやりの心に欠けるといふことである。このような自分に気づき、改めようとすることによって心の成長を図ることができる。今後の学校生活を通じて常に自分を高めていこうとする意欲を持たせたい。		
展開の 大 要	<p>○主な登場人物を知り、資料を読みながら父親の考え方や態度に注目することを確認する。 《資料を読んで考える》</p> <p>○父親はなぜ、旅人の頼みを聞き入れなかったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅人を警戒していたから。 ・信用できなかったから。 <p>○父親の態度をどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅人がどんな人かわからないので、当然の態度だ。 ・苦しんでいる人を助けようとしなのは、心が狭い。 ・少しぐらい助けてあげてもよかったのではないか。 <p>○頼みを聞き入れられなかったのに、娘に薬を与えて立ち去った旅人の態度をどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい。 ・普通なら怒ってしまうのに、心が広い人だ。 <p>◎むすめが回復してから、家族の人々の考え方や生活態度はどのようにかわったか。それはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を疑うことはよくないことだと思ふようになった。旅人にお礼の一つも言えなかったから。 ・困った人がいたら助けなくてはいけないと考えるようになった。その人が思いがけず幸福をもたらしてくれるかもしれないから。 ・旅人の見返りを求めない心に触れて、自分たちも同じようにしなければならぬと反省した。 	
関 連		
授 業 改 善 の た め に		

主題名	善意や支えへの感謝	指導時期	3月2週
資料名	36人のフリみて	資料	あかつき
内容項目	2-(6)	指導者	
ねらい	感謝の心は他者の厚情にふれたときの自然な感情であることに気づき、その気持ちを素直に表わそうとする態度を育成する。		
導入	<p>1 3年生の家族へのメッセージを思い出し、感じられたことを感単に発表し合う。</p> <p>○3年生のどんな気持ちが感じられたらう。</p>		
展開	<p>2 「人のフリみて」を読んで話し合う。</p> <p>○バスの中のやりとりに、あなたはどのような印象をもちましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕たちもやっている。 ・最初は言わなかったけど、先輩が言っているので私も言っている。 ・恥ずかしいし、お金も払っているの。 <p>○「ありがとう」という言葉にまつわる、あなた自身の体験があれば、そのエピソードを聞かせてください。</p> <p>□補助発問 どんなときに「ありがとう」と言っているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に親切にしてもらったとき ・お母さんに迎えに来てもらったとき ・お代わりをもらったとき ・プレゼントをもらったとき <p>□他者の厚情・善意にふれたときの感情ということをおさえる。</p> <p>◎「ありがとう」という言葉には、どんな力があるとあなたは思いますか。</p> <p>□「ありがとう」を伝えることで、作者の内面にあった変化も考えさせる。</p>		
まとめ	<p>3 感想を記入し、発表する。</p> <p>4 「心のアンテナ」を読む。</p>		
<p><授業改善のために></p>			

3月	第3週	【主題名】広い心
【資料名】美しく自分を染め上げてください	【内容項目】1－(5)	
【ねらい】理想を求め、積極的に誠実な生き方を求めようとする心情を育む。		
【主題構成の理由】1年間の中学校生活を振り返ってみると、学級にも生徒個人にもいろいろな出来事があったはずである。進級の時期を迎えて自分自身を見つめなおしてみるとともに、2年生になってからの自分自身、あるいは将来の自分自身を豊かに思い描き、未来への期待を膨らませてほしい。今一度原点に立ち返り、純粋な思いで自分の可能性を見つめてもらいたい。		
展 開 の 大 要	<p>○これまでの中学校生活を振り返ってみよう。</p> <p>・勉強がたいへん。 ・体育祭文化祭。 ・部活動。</p> <p>○では、あなたの心は今、色にたとえたら何色だろうか。</p> <p>・青。 ・きれいな青。 ・灰色。 ・赤。</p> <p>《資料を読んで考える》</p> <p>○この詩の中で、気に入ったところを発表しよう。</p> <p>○心にもう一度真っ白な画用紙をもらいました。美しく染め上げるとしたら、あなたは何色に染めたいですか。</p> <p>◎新しい色に、美しく染め上げるために、これからの中学校生活の中で大切にしたいと思っている心は何ですか。4月、初めての道徳の時間に「心のノート」を開きました。そのページをもう一度開いてみよう。</p> <p>・思いやり ・やさしさ ・がんばる心</p> <p>○もしその心がなかったら、あなたはどうなるだろう。</p> <p>○今日の授業を振り返って、感じたことや考えたことを書いてみよう。</p>	
関 連		
授 業 改 善 の た め に		